

2022年5月11日

『みんなのスポーツ』5月号（No.483）から学ぶ

林 但

平素より協議会の活動にご理解をいただきありがとうございます。

表記、公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合機関誌の5月号は「第3期 スポーツ基本計画を読む」の特集号です。

私が今月号で感じたこと・参考になる点、気になったことなど5点記載します。長文のため時間のある時にお読みください。

1. P8,9 わが町の健康・体づくり 大阪府箕面市：地域の課題解決に向けて

箕面市で気づいた点は2つで、1点目は推進委員の選び方は小学校区から青少年育成を目的とした団体から推薦されるため委員は平均年齢が44歳と若い。2点目は地域の団体や住民との連携・協力・情報共有を行なう。健康・スポーツに関する研修を通して地域の課題解決に尽力し、地域の歴史や地理的特徴を活かしたスポーツ活動を進めている点です。

2.P11 巻頭言 第3期スポーツ基本計画から読み取るスポーツ推進委員への期待と奮起

この項の筆者は福岡県スポーツ推進委員協議会会長鶴田安秀氏である。令和4年3月25日、スポーツ庁は今後5年間に取り組む施策を盛り込んだ「第3期スポーツ基本計画」を公表しました。連絡調整を遂行しているスポーツ推進委員が少ないこと、委員の認知度が低くなり手が不足しているという指摘がありました。これらを解決に向けて2つの提案がありました。

- ① 委員の事業見直しです。体力測定会を定期的に関くことによって、データを取り、現状の説明や運動処方へのアドバイスすることで、参加者の意欲向上や住民と推進委員とのコミュニケーション力を磨く場にする。

「ニュースポーツ」において、単発で事業を終えるのではなく、紹介⇒普及・定着⇒定期開催⇒クラブ創設といった流れが大切。

⇒例えば私の住む地域にはいくつかの団体ができ、2～3回/週練習を行っている。また、中にはグラウンドゴルフ協会の大会や県大会に出ている方もいる。

- ② 運動部活動の地域移行におけるスポーツ推進委員への期待である。

この内容については神奈川県ではモデルケースとして「秦野市」で取り組んでいる。神奈川県教育委員会や学校、スポーツ協会など関係団体が議論を深めることも重要であると筆者は提案されている。ここにスポーツ推進委員が積極的にかかわっていく必要がある。

3. P12 理論1 第3期スポーツ基本計画におけるスポーツ推進委員への期待

この項の筆者はスポーツ庁スポーツ課久保晴生氏である。コロナ禍における生活習慣の変化や感染予防対策を講じる中で、どのようにスポーツ活動を取り組んでいくべきか、「生涯スポーツ」の在り方が大きな転換期を迎えており、スポーツ推進委員に期待が高まって

いると指摘。

第3期では、成人のスポーツ実施率を65%→70%に引き上げられた。この目標の達成に向けて施策を具体化し、計画的に実施していくことを挙げている。

また、コーディネート力を向上させ委員の地域での認知度を高めるために、国・自治体・スポーツ推進委員がすべての団体と連携することを求めています。

#### 4. P18 理論3 日本の体育・スポーツ政策におけるスポーツ推進委員の役割とは何か

この項は宇都宮大学 教授中村祐司氏である。いくつか述べられているが一番心に残ったのは、「地域社会で活動の幅を広げる」というところである。地域が関わるスポーツ活動自体の幅が広がると同時に地方創生や街づくり活動、文化や福祉活動といった領域までスポーツが包摂する傾向が顕著だと述べられている。本市においても文化・スポーツ・観光は一つの部であり連携して進めている。私たち委員は生活者として、現場の課題を把握しています。この強みを私たちは持っています。データを蓄積されノウハウや知恵として活かし、トライアンドエラーを繰り返しながら活動を進めていきましょう。

#### 5. P21 理論4 第3期スポーツ基本計画が期待する地域スポーツと推進委員

この項は武庫川女子大学 柳沢和雄氏である。冒頭でスポーツ推進委員の減少に触れられている。H11年に62,098人がR3年には49,339人と20.5%も減っている。本市においても7.8%減である。

活動計画には予算が伴い、担当部局とのすり合わせも必要になります。さらに、推進委員が単独で健康づくりの係わる他部局と連携を取ることはできず、行政と一緒に動かなければ推進委員のコーディネート力は機能しません。

第2期に比べて施策に記述が大幅に増えており、推進委員への期待が高まっています。まずは、ポストコロナを見据えた地域のスポーツ像をどう描くのか。コロナで希薄になった地域の人間関係やコミュニティづくりをどうするか？推進委員だけでなく、行政と一緒にやり取りする（組織的な取り組み）が求められています。蛇足ですが数年前にある学区が体育振興会を休止しています。これらは氷山の一角のように私は感じています。

今月号は5つの事について記載致しました、知っていることが多いと思う方もあるかもしれませんが、気づいたことでできることから始めて（行動）みませんか？

\*本冊子は有益で私たちの活動のヒントや答えがあるように私は思います。年間購読されなかった方は、個別にも購入はできますので一度読んでみてください。問題意識や感度を高めていくと紹介されている事例が使える場合とこのままでは使えないがこうすればできる。こんな方法もあるなど感ずると思います。

大幅にスポーツ推進委員の係る部分が変わってきています。5月号は第3期スポーツ基本法の見直し部分で委員にする部分が抽出して記載されています。

以上